

「畜産の情報」 10月号「平成28年度牛乳・乳製品の消費動向に関する調査の結果」訂正内容（69～85ページ）

※ 訂正箇所は赤字で記載しています。

訂正後	訂正前
<p>2 白もの牛乳類の飲用実態</p> <p>(1) 飲用頻度～ほぼ毎日飲む人は44.3%～</p> <p>飲み方を問わず、白もの牛乳類を飲む頻度を聞いたところ、「毎日飲む」が32.7%（前年度比1.8ポイント減）、「週に5～6日飲む」が11.6%（同3.0ポイント増）となった。</p> <p>この2つを合計した「ほぼ毎日飲む」は、44.3%（1.2ポイント増）と2年連続で増加した（図1）。</p> <p>一方、「全く飲まない」も、2年連続で11.1%（同7.0ポイント減）と前年度よりかなりの程度減少した。</p> <p>「ほぼ毎日飲む」を性・年代別に見ると、男女とも中学生が高かったものの、男子中学生は68.9%（前年度比11.1ポイント減）、女子中学生は63.6%（同6.4ポイント減）とともに前年度より減少した（表）。</p> <p>男性は20、40、50代が前年度よりわずかに減少し、また60代がやや減少したものの、70代以上が前年度よりかなりの程度増加し、結果として前年度より3.1ポイント増加した。</p> <p>女性は、40代と70代以上で前年度を上回ったものの、それ以外のすべての年代で前年度を下回ったため0.8ポイント減少した。</p>	<p>2 白もの牛乳類の飲用実態</p> <p>(1) 飲用頻度～ほぼ毎日飲む人は44.3%～</p> <p>飲み方を問わず、白もの牛乳類を飲む頻度を聞いたところ、「毎日飲む」が32.7%（前年度比1.8ポイント減）、「週に5～6日飲む」が11.6%（同3.0ポイント増）となった。</p> <p>この2つを合計した「ほぼ毎日飲む」は、44.3%（1.2ポイント増）と2年連続で増加した（図1）。</p> <p>一方、「全く飲まない」も、2年連続で11.1%（同7.0ポイント減）と前年度よりかなりの程度減少した。</p> <p>「ほぼ毎日飲む」を性・年代別に見ると、男女とも中学生が高かったものの、男子中学生は68.9%（前年度比11.1ポイント減）、女子中学生は63.6%（同6.4ポイント減）とともに前年度より減少した（表）。</p> <p>男性は20、50、60代が前年度よりわずかに減少したものの、40代および70代以上が前年度より大幅に増加し、結果として前年度より3.1ポイント増加した。</p> <p>女性も男性同様、40代と70代以上で前年度を上回ったものの、それ以外のすべての年代で前年度を下回ったため0.8ポイント減少した。</p>

訂正後

表 性・年代別 白もの牛乳類を飲む人の割合（性・年代別）（「ほぼ毎日飲む」「毎日飲む」「週に5～6日飲む」の合計）

	男性						女性						
	n	26年度	27年度	n	28年度		n	26年度	27年度	n	28年度	28年度	
					割合	前年差比(ポイント)						割合	前年差比(ポイント)
計	1600	35.3	40.5	1332	43.6	3.1	1600	45.7	45.7	1332	44.9	▲0.8	
中学生	200	77.5	80.0	181	68.9	▲11.1	200	67.5	70.0	161	63.6	▲6.4	
10代(中学生除く)	200	45.0	48.0	149	48.0	0.0	200	33.0	34.5	173	31.0	▲3.5	
20代	200	23.0	33.0	176	32.3	▲0.7	200	37.0	30.0	154	26.9	▲3.1	
30代	200	33.0	37.0	157	39.2	2.2	200	45.5	47.0	175	46.1	▲0.9	
40代	200	30.0	30.5	179	30.3	▲0.2	200	45.0	46.5	155	51.0	4.5	
50代	200	27.0	33.0	155	32.5	▲0.5	200	46.5	48.5	175	47.2	▲1.3	
60代	200	36.5	46.5	177	41.1	▲5.4	200	49.0	45.5	161	40.6	▲4.9	
70代以上	200	43.0	46.0	158	55.7	9.7	200	46.5	49.0	178	52.0	3.0	

注：nはサンプル数(number)。

図3 飲み方別、白もの牛乳類の飲用頻度の推移（時系列、単一回答）



注：nはサンプル数(number)。

訂正前

表 性・年代別 白もの牛乳類を飲む人の割合（性・年代別）（「ほぼ毎日飲む」「毎日飲む」「週に5～6日飲む」の合計）

	男性						女性						
	n	26年度	27年度	n	28年度		n	26年度	27年度	n	28年度	28年度	
					割合	前年差比(ポイント)						割合	前年差比(ポイント)
計	1600	35.3	40.5	1332	43.6	3.1	1600	45.7	45.7	1332	44.9	▲0.8	
中学生	200	77.5	80.0	181	68.9	▲11.1	200	67.5	70.0	161	63.6	▲6.4	
10代(中学生除く)	200	45.0	48.0	149	48.0	0.0	200	33.0	34.5	173	31.0	▲3.5	
20代	200	23.0	33.0	176	32.3	▲0.7	200	37.0	30.0	154	26.9	▲3.1	
30代	200	33.0	37.0	157	39.3	2.3	200	45.5	47.0	175	46.1	▲0.9	
40代	200	30.0	30.5	179	38.5	8.0	200	45.0	46.5	155	51.0	4.5	
50代	200	27.0	33.0	155	32.5	▲0.5	200	46.5	48.5	175	47.2	▲1.3	
60代	200	36.5	46.5	177	46.2	▲0.3	200	49.0	45.5	161	40.6	▲4.9	
70代以上	200	43.0	46.0	158	55.7	9.7	200	46.5	49.0	178	52.0	3.0	

注：nはサンプル数(number)。

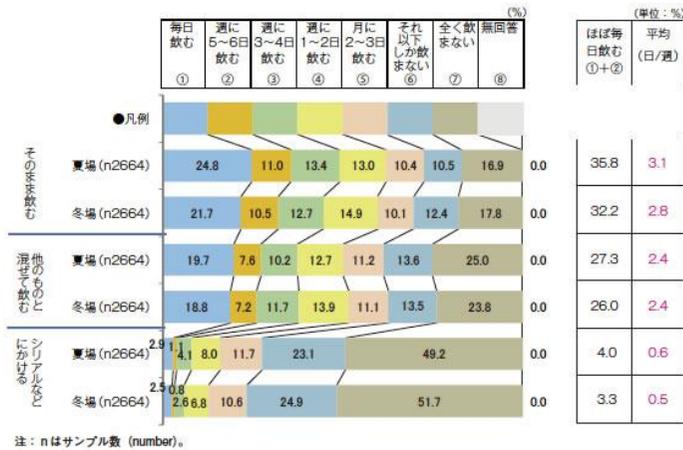
図3 飲み方別、白もの牛乳類の飲用頻度の推移（時系列、単一回答）



注：nはサンプル数(number)。

訂正後

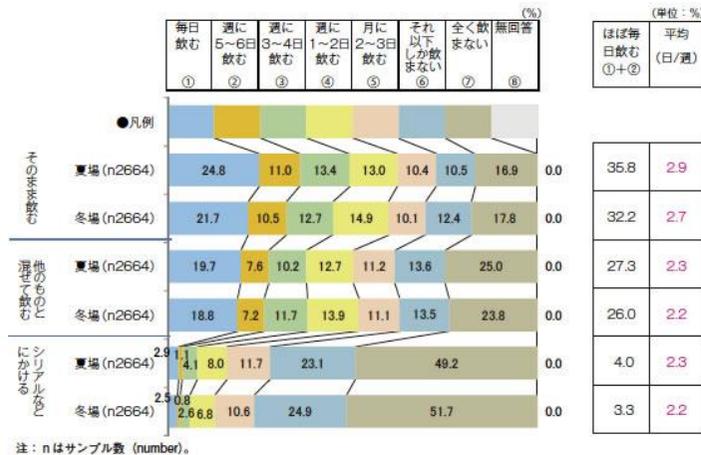
図4 飲み方別、白もの牛乳類の飲用頻度（季節変動、単一回答）



(6) 飲用を阻害する大きな理由～「においが嫌い」「味にクセがある」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」「飲んだ後、口に残る」など～白もの牛乳類の「飲用が減った」、「もともと飲まない」理由として、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答したうち、最も多かったのは「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」で30.6%、2番目は「牛乳は味にクセがある」で28.7%、3番目は「牛乳は飲んだ後、口に残る」で27.9%、4番目は「牛乳のにおいが嫌い」で26.5%の順となった(図7)。これら4つが、牛乳の飲用を阻害する大きな理由となっている。

訂正前

図4 飲み方別、白もの牛乳類の飲用頻度（季節変動、単一回答）



(6) 飲用を阻害する大きな理由～「においが嫌い」「味にクセがある」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」「飲んだ後、口に残る」など～白もの牛乳類の「飲用が減った」、「もともと飲まない」理由として、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答したうち、最も多かったのは「牛乳のにおいが嫌い」で30.6%、2番目は「牛乳は味にクセがある」で28.7%、3番目は「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」で27.9%、4番目は「牛乳は飲んだ後、口に残る」で26.4%の順となった(図7)。これら4つが、牛乳の飲用を阻害する大きな理由となっている。

訂正後

図7 牛乳の飲用を阻害する大きな理由（飲用量減少・非飲用の理由、単一回答）

〈飲用量が減少した・もともと飲まない者ベース〉



注：サンプル数は687。

訂正前

図7 牛乳の飲用を阻害する大きな理由（飲用量減少・非飲用の理由、単一回答）

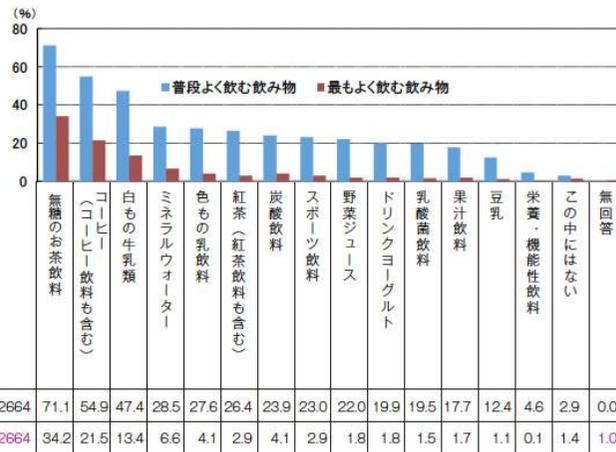
〈飲用量が減少した・もともと飲まない者ベース〉



注：サンプル数は687。

訂正後

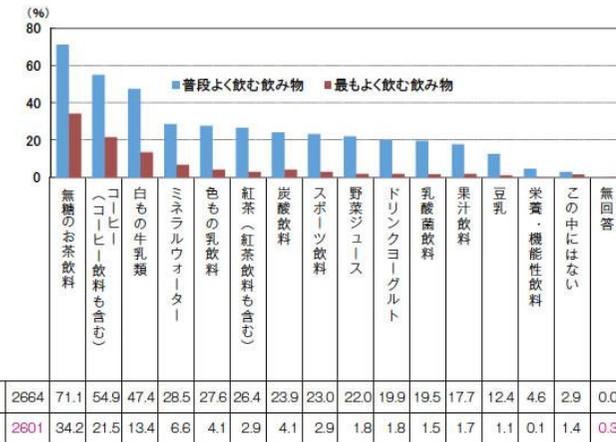
図8 普段よく飲む飲み物（複数回答）と最もよく飲む飲み物（単一回答）



注：nはサンプル数（number）。

訂正前

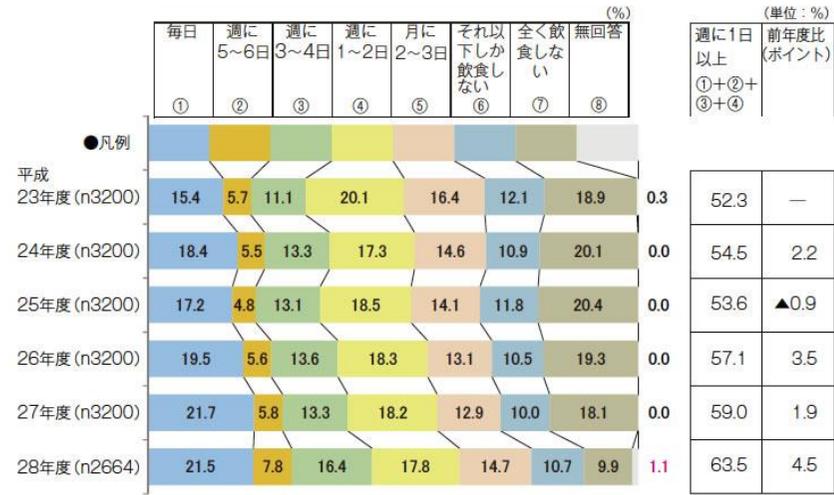
図8 普段よく飲む飲み物（複数回答）と最もよく飲む飲み物（単一回答）



注：nはサンプル数（number）。

訂正後

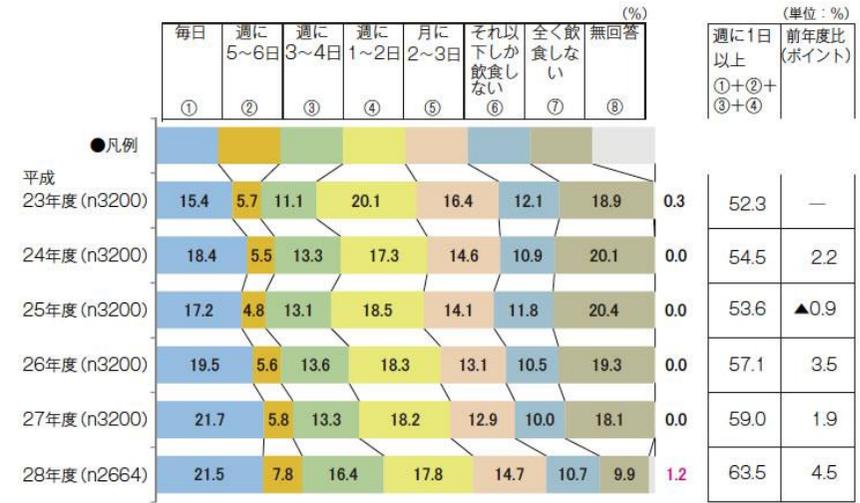
図1-4 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度の推移（単一回答）



注：nはサンプル数 (number)。

訂正前

図1-4 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度の推移（単一回答）



注：nはサンプル数 (number)。

訂正後

図 1 6 バターの購入頻度 (単一回答)

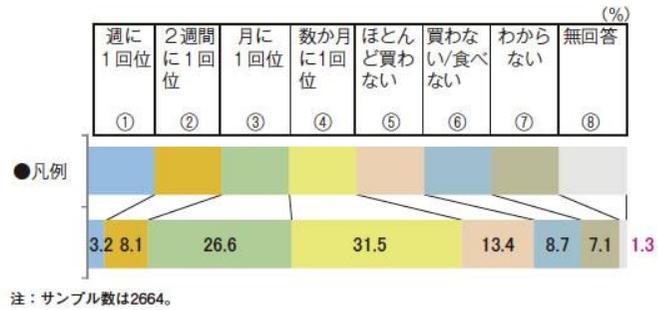
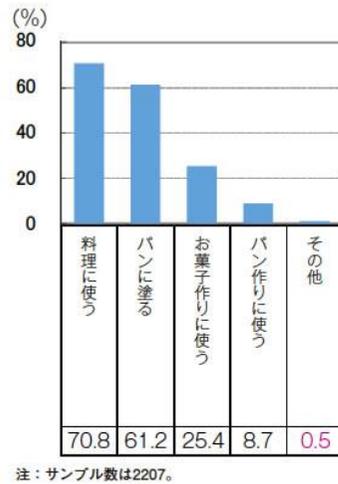


図 1 8 バターの使い方 (複数回答)



訂正前

図 1 6 バターの購入頻度 (単一回答)

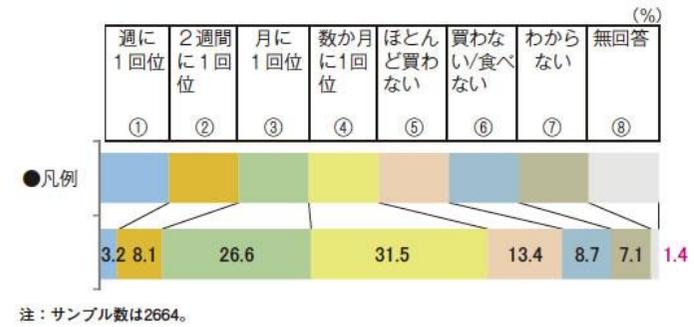
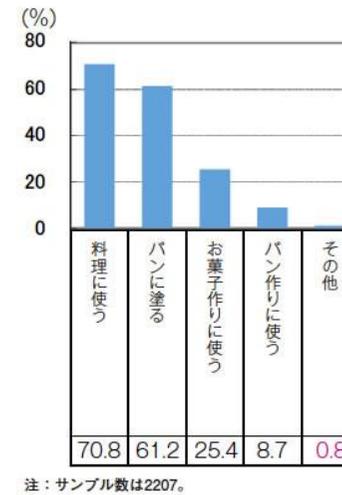


図 1 8 バターの使い方 (複数回答)



## 訂正後

(参考) 調査の概要 3. 調査地域とサンプル数

## 【地域】

地域	回収数	構成比 (%)
北海道	112	4.2
東北	192	7.2
関東	1,176	44.1
東海	224	8.4
北陸	40	1.5
近畿	432	16.2
中国	176	6.6
四国	72	2.7
九州	240	9.0
計	2,664	100.0

## 【都市規模】

都市規模	回収数	構成比 (%)
大都市	1,032	38.7
15万人以上	816	30.6
5～15万人未満	664	24.9
5万人未満の市	152	5.7
計	2,664	100.0

## 訂正前

(参考) 調査の概要 3. 調査地域とサンプル数

## 【地域】

地域	回収数	構成比 (%)
北海道	112	4.2
東北	192	7.2
関東	1,176	44.2
東海	224	8.4
北陸	40	1.5
近畿	432	16.2
中国	176	6.6
四国	72	2.7
九州	240	9.0
計	2,664	100.0

## 【都市規模】

都市規模	回収数	構成比 (%)
大都市	1,032	38.8
15万人以上	816	30.6
5～15万人未満	664	24.9
5万人未満の市	152	5.7
計	2,664	100.0